

# がん化学(放射線)療法レジメン申請書 (ver.4)

・記載不備がある場合は審査対象になりません。\*は記入不要です。

申請日	2025年11月13日	受付番号	*
診療科名	産科婦人科	がん種(コード)	*
診療科長名		登録ナンバー	*
申請医師名		承認日	*
審査区分(下記をチェックしてください)		マスタ登録日	*
通常審査を希望	<input checked="" type="checkbox"/>	マスタ変更日	*
迅速審査を希望	<input type="checkbox"/> 注 <sup>1)</sup>	最終改訂年月日	*
迅速審査(患者追加)を希望 (過去登録歴あり)	<input type="checkbox"/> 注 <sup>1)</sup>	登録削除日	*
HPでのレジメン公開の可否	可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/>		

注 1) 迅速審査は患者限定となります。

がん種	レジメン名	実施区分	使用分類	適応分類
卵巣癌	PTX+NDP 注2)	<input type="checkbox"/> 入院 <input type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 入院及び外来	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療(試験以外) <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 多施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床試験 <input type="checkbox"/> 治験 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 通常化学療法 <input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> その他( )

・申請されたレジメンは原則共用ですが、科限定を希望する場合(治験や特殊な化学療法)は右にチェックしてください。 □

**注2)** レジメン名の命名法：①疾患（臓器）②薬剤（多剤の場合はコンセンサスの得られた通称）③投与法、④臨床試験の場合は試験の名称または研究グループ名称—この順番に命名してください。（day8, day15などの投与日がある場合、オーダリングシステム上は別レジメン名となりますので、承認後⑤として-day8 や-day15 が加わります。）

### (a)投与スケジュール記載例

(b)投与日のスケジュール記載例

投与順序	投与薬剤名(商品名)	投与量		投与経路	投与方法	投与時間	その他コメント	投与日 Day (丸数字は投与順番を記載)						
		量	単位					1	2	8				
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始	①					
	デキサート注 生食	9.8 100	mg mL											
1	生食	250	mL	メイン	点滴		分	ルートキープ	①	①	①			
2	デキサート注 生食	8.8 100	mg mL	側管	点滴	30	分		②	②	②			
	ゲムシタビン 生食	1000 100	mg/m2 mL											
3	シスプラチン 生食	100 500	mg/m2 mL	側管	点滴	60	分		③	③				
4				側管	点滴	60	分		③					

## 化学療法投与スケジュール

レジメン名(登録名)	<b>PTX+NDP</b>
休薬期間※	※
レジメンコード※	※
対象疾患	<b>卵巣癌</b>
診療科名	<b>産婦人科</b>
記入者名	

レジメン名記載例： 脾癌・ゲムシタビン・(weekly adjuvant)

- ①疾患名
  - ②薬剤名あるいはレジメンの通称
  - ③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

メインの点滴や負荷輸液の薬剤(外液や維持液など)をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

様式3

(審査の参考にしますので簡単に記載してください。)

基 準 項 目																												
適 格 基 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織学的に確認された上皮性卵巣癌、</li> <li>②原発性腹膜癌および卵管癌患者</li> <li>③初回再発</li> <li>④プラチナ製剤を含む化学療法施行後、6カ月以上経過後の再発</li> <li>⑤18歳以上</li> <li>⑥測定可能病変（RECIST v1.0）を有する</li> <li>⑦ECOG PS 0-1</li> <li>⑧12週以上の生存が可能</li> <li>⑨骨髄、血液、腎、肝機能が十分に保たれている</li> </ul>																											
開 始 基 準	<p>薬剤投与の可否を決定する項目を具体的に記載してください。 (血液検査データや身体所見など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好中球数 1500/mm<sup>3</sup> 以上</li> <li>・血小板数 100,000/mm<sup>3</sup> 以上</li> <li>・ヘモグロビン 9.0g/dL 以上(輸血後の値も許容する)</li> <li>・AST(GOT)および ALT(GPT) 100IU/L 以下</li> <li>・総ビリルビン 1.5mg/dL 以下</li> <li>・血清クレアチニン 1.2mg/dL 以下</li> <li>・Ccr (Modified Jelliffe 式) 50mL/min 以上</li> <li>・心電図 正常または治療を要さない程度の変化</li> </ul>																											
投与量 変 更 基 準	<p>有害事象などで投与量を変更する際の基準を記載してください。</p> <p>用量レベル0で開始し、各サイクル毎に前サイクルでの毒性の評価をもって、Paclitaxel 単独、または Nedaplatin との両剤を減量し、次サイクルを実行する。レベル-3の用量で実行したサイクルで、減量規定に抵触した症例は試験を中止する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤</th> <th>用量レベル</th> <th>投与量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Paclitaxel</td> <td>レベル0(全量)</td> <td>175mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>レベル-1</td> <td>150mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>レベル-2</td> <td>135mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>レベル-3</td> <td>110mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>Nedaplatin</td> <td>レベル0(全量)</td> <td>80mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>レベル-1</td> <td>70mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>レベル-2</td> <td>60mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td></td> <td>レベル-3</td> <td>50mg/m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤	用量レベル	投与量	Paclitaxel	レベル0(全量)	175mg/m <sup>2</sup>		レベル-1	150mg/m <sup>2</sup>		レベル-2	135mg/m <sup>2</sup>		レベル-3	110mg/m <sup>2</sup>	Nedaplatin	レベル0(全量)	80mg/m <sup>2</sup>		レベル-1	70mg/m <sup>2</sup>		レベル-2	60mg/m <sup>2</sup>		レベル-3	50mg/m <sup>2</sup>
薬剤	用量レベル	投与量																										
Paclitaxel	レベル0(全量)	175mg/m <sup>2</sup>																										
	レベル-1	150mg/m <sup>2</sup>																										
	レベル-2	135mg/m <sup>2</sup>																										
	レベル-3	110mg/m <sup>2</sup>																										
Nedaplatin	レベル0(全量)	80mg/m <sup>2</sup>																										
	レベル-1	70mg/m <sup>2</sup>																										
	レベル-2	60mg/m <sup>2</sup>																										
	レベル-3	50mg/m <sup>2</sup>																										

		Paclitaxel	Nedaplatin
Grade3-4の好中球減少を伴う感染		-1レベル	-1レベル
血小板減少 Grade4		-1 レベル	-1レベル
Grade4の好中球減少が1週間以上持続		-1 レベル	-1レベル
神経障害 Grade2		-1 レベル	変更なし
上部消化管症状 Grade3		-1 レベル	-1レベル
肝機能障害 Grade2		-1 レベル	変更なし

以下の①～③のうち、当該レジメンが該当する箇所にチェックしてください。

① 標準治療<sup>注3)</sup>である。または、標準治療に準ずる治療である



注3) 標準治療とはエビデンスレベル「Ⅱ」以上であることを原則とします。

② 臨床試験の場合はIRBにて承認をうけている



③ ①②いずれにも該当しない(通常審査での申請は不可)



①、③の場合 エビデンスレベルを以下の表にチェックしてください。重要文献も添付してください。

また、当該レジメンの申請理由について記入してください。なお、③の場合は当該レジメンをどのような位置づけで実施しようとしているのか、ガイドラインに一応の記載がある、学会やコミュニティでのコンセンサスがある、診療科内でのコンセンサスがある、など、そのレジメンの信頼度について申請者がどのように判断した上で申請しているのか、が具体的に分かるよう申請理由に記載して下さい。

Level	内容	チェック欄
I	Phase III のランダム化比較試験の結果、優越性もしくは非劣性を示したもの	<input checked="" type="checkbox"/>
II	Phase II の prospective study の結果により、標準治療になりうることが学会などで広くコンセンサスを得ているもの	<input type="checkbox"/>
III	Phase II などの prospective study	<input type="checkbox"/>
IV	Retrospective study (case control study など)	<input type="checkbox"/>
V	Case reports	<input type="checkbox"/>
VI	専門家の意見	<input type="checkbox"/>

申請理由<sup>注4)</sup>

TC療法の適応のある患者でカルボプラチナレルギーがある患者への代替治療として必要なため。

参考文献

Paclitaxel plus nedaplatin vs. paclitaxel plus carboplatin in women with epithelial ovarian cancer: A multi-center, randomized, open-label, phase III trial

注4) このレジメンの妥当性や必要性を含め、申請理由を審査委員にわかりやすく記載してください。

無記入の場合には、審査対象となりませんのでご注意ください。なお、迅速審査の場合には、レジメンの説明に加えて、当該患者背景や使用する理由を記載してください。

②の場合

以下を記入してください。

1. 試験名

2. 試験期間

3. phase

4. IRB 承認の有無[予定]

プロトコール概要

